

ステージラボ鶴岡セッション 参加者募集

申込締切

2026年4月24日(金)必着

ステージラボとは…?

地域の文化・芸術に携わる公立ホール・劇場等並びに地方公共団体の職員の方々を対象とした研修プログラムです。

少人数のゼミ形式によるセミナー、グループ討論、ワークショップなど双方向の内容が特徴で、地域における創造的な表現活動の環境づくりに取り組む人材の育成と、相互交流の促進を目指して実施します。研修プログラムは、経験豊富な実務家等をコーディネーターとして迎えて作成し、職務内容や経験年数別のコースを開講しています。

▶▶▶ こんな方におすすめ！

- ◎公立ホールや劇場の役割や可能性を学び、考えたい
- ◎事業実施やホール運営の参考になる関連事例を知りたい
- ◎同じような課題に悩み、相談できる仲間と出会いたい

鶴岡セッション 概要

日程 2026年7月7日(火)～7月10日(金) [4日間]

会場 荘銀タクト鶴岡(鶴岡市文化会館)(山形県鶴岡市馬場町11-61)

コース 2コース開講(ホール入門、自主事業)

定員 各コース20名程度

参加費 研修参加は無料 ※交通、宿泊、滞在中の食事はご自身で手配、費用負担いただきます。

1 ホール入門コース 公立ホール・劇場等で企画・運営に携わる職員および地域の文化・芸術に携わる地方公共団体職員で、公立ホール・劇場において業務経験年数1年半未満(開館準備のための組織は年数不問)の方。

コーディネーター：セレノグラフィカ(隅地菜歩(振付家・ダンサー)、阿比留修一(ダンサー))

現在の皆さんの新鮮な目で、人と人が出会う現場を体験してみましょう。ワークショップに参加したら、参加する前の自分と何が変わるでしょうか。また、皆さんの新鮮な耳で、劇場に関わる先輩たちの興味深い経験談を聞いてみましょう。どんな話なら迷ったり悩んだりした時に思い出せるでしょうか。今回の4日間のプログラムから、ぜひ劇場で働くことの魅力、できれば醍醐味を見つけてください。ご自分のその身体と感覚で。

2 自主事業コース 公立ホール・劇場等で企画・運営に携わる職員および地域の文化・芸術に携わる地方公共団体職員で、自主企画による事業を実施している公立ホール・劇場において業務経験年数2～3年程度の方。

コーディネーター：田澤拓朗(サントミュージゼ(上田市交流文化芸術センター)事業担当係長)

みなさんのホールが抱える課題にも向き合いながら、集客や採算といった短期的な数値だけに一喜一憂するのではなく、地域のホールとして独自の存在意義を持ち続けていくためにはどうしたら良いか、他館の事例や評価手法について触れながらその方策を考えます。また、ワークショップ体験やアーティストとの対話などを通して、自分自身の内面に起こる変化を感じる機会になればと思います。

会場：荘銀タクト鶴岡
(鶴岡市文化会館)

申込方法・各コースの詳細は
裏面をご覧ください！

アクセス
(会館HP)



お問い合わせ

(一財)地域創造 芸術環境部 研修担当
TEL : 03-5573-4183
E-mail : kensyu@jafra.or.jp

1 ホール入門コース

セレノグラフィカ 隅地菜歩（振付家・ダンサー）、阿比留修一（ダンサー）

代表の隅地菜歩（同志社大学大学院文学研究科修了）と阿比留修一（近畿大学文芸学部芸術学科演劇芸能専攻卒業）によって1997年に結成。デュエット作品の創作を基軸に方法論の確立と解体を続行し、隅地のTOYOTA CHOREOGRAPHY AWARD2005「次代を担う振付家賞」（グランプリ）受賞後は、国内外に作品発表の場を広げる。2007年、公共ホール現代ダンス活性化事業の登録アーティストとなったことをきっかけとして、全国各地でのアウトリーチ活動や市民参加作品創作にも多数取り組み、各地の劇場やNPO等と協働。実演以外にも、大学での講義や冊子の刊行など、広範に身体表現芸術の普及に務めている。



©Ai Hirano

初めまして。私たちはダンスアーティストとしてさまざまな劇場に出向いて、ステージで作品を踊ったり創ったり、ホール内でワークショップをしたり、ホールの皆さんと一緒に学校や施設を訪問してダンスを届けたりしています。そこでの多世代の方たちとの出会いは、全て劇場の皆さんがつないでくださって実現するものです。そして、その出会いのエネルギーが私たちの燃料であると言っても過言ではありません。今回皆さんと私たちが会えるのも、劇場。できれば出会いのエネルギーを分かち合ってお互いの発見を交換したいものです。劇場や公立文化施設の勤務と言ってもさまざまな業務があると思いますが、まだフレッシュな皆さんに、ここ一年なり一年半なりの経験の中で一番記憶に残っていることをお聞きしようとも思っています。同じことに驚いたり納得したりしている仲間が見つかるかもしれません。複数のワークショップを体験したり、広い意味で先輩にあたる人たちの話「仕事を始めた頃の私と今」に耳を傾けたりもしますが、実は皆さんが劇場という場の不思議な魅力に開眼してくださることがねらいです。鶴岡でお会いできるのを心から楽しみにしています。

2 自主事業コース

田澤拓朗（サントミュージゼ（上田市交流文化芸術センター）事業担当係長）



1979年青森県青森市生まれ。中央大学法学部卒業後、2002年～2014年一般財団法人青森市文化スポーツ振興公社に勤務。施設管理、総務、事業の各業務に携わり、一般財団法人地域創造の「公共ホール音楽活性化事業」への参加をきっかけに、アウトリーチ事業「おでかけクラシック」シリーズをスタートさせる。また、2007年～2014年には「公共ホール音楽活性化事業」のコーディネーター等を務める。

2014年上田市役所に入庁。交流・文化施設の開館準備業務に携わった後、開館以降はサントミュージゼ（上田市交流文化芸術センター）において、主に音楽事業の企画・制作を担当。現在、事業担当係長として事業全体の統括業務を担っている。

みなさん、こんにちは。日々のお仕事を楽しんでますか？この仕事に望んで就いた方とそうではない方。望んで就いてはみたけれど、思い描いていた世界との違いに戸惑っている方。さまざまな思いで向き合っていることと思います。私は公共ホールの仕事に就いて気付けば24年経ちますが、思いがけず文化施設に配属されたところからのスタートでした。ではなぜ今もここにいるのか。それは人や地域との関わりの中で、楽しみや喜びを感じる体験があったからだと思います。サントミュージゼは立ち上げから約

10年が経過し、いまやっと地域の小さな変化を感じ始めています。大きなことを打ち出すというよりは、まるで薄紙を1枚1枚丁寧に重ねていくような、そんな10年でした。理想と現実の狭間で思い悩むこともあるかもしれませんが、大切なのは人（あなた）です。ホールには地域やアーティストから信頼される人の存在が不可欠です。10年後の未来にどんなホールでありたいのか、その時自分はどうか存在したいのか。集まったみなさんと共に考え、未来につながる糸口が見つかるのが嬉しいです。

申込方法

当財団ウェブサイトより「ステージラボ鶴岡セッション募集要領」をご確認いただき、専用フォームよりお申込みください。

アンケート内容などを考慮のうえ、参加コースと参加可否の調整を行います。
（2026年5月中旬通知予定）

皆さまのご参加を
お待ちしております！



地域創造ウェブサイト申込ページ▲

締切 2026年4月24日（金）必着